

科目名	スポーツトレーナー実践Ⅲ						
分野	その他の分野	担当教員	深谷 高治				
開講時期	1学年(集中講義)	単位数	講義	実技	演習	実習	
時間数	30				2		
科目の概要	<p>トレーナーとして必要な技術を傷害の判断、身体評価、レントゲン評価、テーピング技術を行いながら身につける。実技ができるだけでなく、自ら考え、アスレチックリハビリテーションに必要な評価や処方ができるようになることを目指す。</p>						
学習の到達目標	<p>スポーツ傷害の評価やアスレチックリハビリテーションやトレーニングのプログラミング処置が自分できる。</p>						
成績評価の方法と基準	<p>出席基準を満たした者については、試験結果、提出物、授業態度を考慮し総合的に評価する。</p>						
使用テキスト	日本体育協会公認アスレチックトレーナー専門科目テキスト						
参考文献	なし						
実務経験を有する者	○						
講義計画	講義内容						
1	肉離れの病態理解とテーピング方法(非伸縮性と伸縮性)						
2	テニス肘、肘関節靭帯損傷の病態理解とテーピング方法						
3	指関節靭帯、手関節靭帯損傷の病態理解とテーピング方法						
4	扁平足、外反母趾の病態理解とテーピング方法						
5	ランニング障害における歩行移動の基本理解と歩行誘導テーピング方法						
6	姿勢評価と不良姿勢を改善させるストレッチ方法						
7	膝関節捻挫(内側側副靭帯損傷)の病態理解と非伸縮性テーピング方法①						
8	膝関節捻挫(内側側副靭帯損傷)の病態理解と非伸縮性テーピング方法②						
9	膝関節捻挫(前十字靭帯損傷)の病態理解とテーピング方法①						
10	膝関節捻挫(前十字靭帯損傷)の病態理解とテーピング方法②						
11	レントゲン、外見写真を用いた身体アライメント評価①						
12	レントゲン、外見写真を用いた身体アライメント評価②						
13	トレーニング施設実習(ビック3トレーニング、アジリティ、プライオメトリックトレーニングの実践)						
14	トレーニング施設実習(ビック3トレーニング、アジリティ、プライオメトリックトレーニングの実践)						
15	総合評価(まとめ)						

(2024年度)